

第79回鋼中非金属介在物分析小委員会 開催日: 10月25日. 開催地: 鋼管・福山. 出席者: 仲山委員長代行, ほか 19 名.

1. 鋼中酸化物系介在物の抽出分離定量法に関する研究

- (1) 第7回共同実験試料に関する自発検討結果
- (2) 第7回共同実験結果の報告と審議
- (3) 第8回共同実験の進め方
- (4) その他

第12回ほたる石分析小委員会 開催日: 10月25日. 開催地: 鋼管・福山. 出席者: 岩田委員長, ほか 26 名.

1. 各 JIS 案文作成について
 2. その他
- ・ほたる石分析小委員会解散について

鉄鋼技術情報センター

第10回センター共同研究会 開催日: 11月14~15日. 開催地: 川鉄・千葉. 出席者: 雀部センター運営委員会委員長, ほか 100 名.

社内技術情報の管理体制を共通テーマとして, 7社より8件と, 自由テーマとして, SDI サービスの現況, 特許と技術情報の関係について2件の発表があつた.

この研究会後, 千葉製鉄所の見学を行つた.

図書資料委員会第14回 WG2 開催日: 11月7~8日. 開催地: 久呂保山荘. 出席者: 西垣チーフ, ほか11名.

1. 鉄共研資料索引(含抄録)の入力原稿の作成について
2. その他

一書 評

DECHEMA 方式腐食防食実験工学

駒井謙治郎・日根文男・山川宏二・山崎正八郎 共訳・編集

DECHEMA (Deutsche Gesellschaft für chemisches Apparatewesen) が定期的に開催している講義・実習セミナーに使用されているテキストの和文版であつて, 日本材料学会腐食防食部門委員会が, 同テキストの1970年版訳を使つて1977年以降毎年開催してきた実験講習会の実施経験を1976年の改訂版に盛り込んだものである. 測定機器の使用法などは, 我が国での実情にあわせて書き改め, また実験課題も旧版の51題にわが国で補われた18題を加えて計74課題と充実されている. しかし本の体裁一本文を見開き左頁に, 図表は右頁に配列し, 実習課題ごとに改頁する一は原版に忠実にならつて使いやすいものになつている. 理論編(134頁)→実験編(189頁)と続く内容と実験課題数の概要は次のとおりである.

1. 材料/腐食媒体からなる腐食系
 - 1.1 材料(実験課題数4), 1.2 腐食媒体

2. 腐食の基礎過程

2.1 現象論(課題数5), 2.2 金属腐食の電気化学的機構(課題数6), 2.3 高温ガス中における金属腐食の機構(課題数4), 2.4 腐食と機械的応力, 2.5 合成樹脂の腐食と劣化

3. 腐食試験

3.1 化学的試験(課題数10), 3.2 電気化学的試験(課題数10), 3.3 機械的試験法(課題数11), 3.4 非破壊検査による腐食損傷の検出

4. 防食

4.1 被膜(課題数8), 4.2 電気化学的防食法(課題数3), 4.3 インヒビタ(課題数3)

5. 事故調査・対策

5.1 腐食環境解析(課題数3), 5.2 素材および腐食生成物の分析(課題数2), 5.3 応力測定(課題数3), 5.4 フラクトグラフィ(課題数2)

DECHEMA テキストは, 腐食・防食分野の広範囲にわたる実際の問題を費用と時間との制約のもとで行う実験室内実習テーマとして巧みに取り入れていることに定評がある. このような本書は, 大学・高専等の実験担当者に直接参考になるほか, 企業の現場で新たに直面した問題解決のよい案内にもなる. (辻川茂男)

A4判 327 ページ 定価 10,000 円(送料を含む)
昭和 59 年 3 月 日本材料学会発行